

日本フィルハーモニー
交響楽団

横浜定期演奏会

2024-2025 横浜みなとみらいホール◎毎月土曜日 17:00 開演

●春季

第405回 2025年3月22日(土)

指揮: 小林研一郎
[桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン: 中野りな

チャイコフスキー:
ヴァイオリン協奏曲

リムスキー=コルサコフ:
交響組曲《シェエラザード》



© 山本倫子



© kisekimichiko

S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000
C席 ¥5,000 P席 完売 Ys席 ¥2,000

第406回 2025年4月19日(土)

指揮・ピアノ: 横山幸雄

ショパン:
ポーランドの歌による幻想曲

ショパン:
演奏会用ロンド《クラコヴィアク》

ショパン:
ピアノ協奏曲第1番



© ZIGEN

S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000
C席 ¥5,000 P席 完売 Ys席 ¥2,000

第407回 2025年5月31日(土)

指揮: ガボール・タカーチ=ナジ
ピアノ: 三浦謙司

© Miguel Bueno

シューベルト:
交響曲第7番《未完成》

モーツァルト:
ピアノ協奏曲第21番

コダーイ:
組曲《ハーリ・ヤーノシュ》



© Harald Hoffmann

S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000
C席 ¥5,000 P席 完売 Ys席 ¥2,000

第408回 2025年6月14日(土)

指揮: 小林研一郎
[桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン: 千葉清加
[アシスタント・コンサートマスター]

モーツァルト:
ヴァイオリン協奏曲第3番

マーラー:
交響曲第1番《巨人》



© 山本倫子



S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500
C席 ¥5,500 P席 完売 Ys席 ¥2,000

第409回 2025年7月5日(土)

指揮: 原田慶太楼
ピアノ: 阪田知樹

© Shin Yamagishi

ラフマニノフ:
ヴォカリーズ(管弦楽版)

ラフマニノフ:
パガニーニの主題による狂詩曲

ラフマニノフ:
交響曲第2番



© Ayustet



S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000
C席 ¥5,000 P席 完売 Ys席 ¥2,000

●春季定期会員券(全5回)

S席 ¥29,000 A席 ¥23,000
B席 ¥20,000 C席 ¥18,000
P席 ¥15,800 Ys席(25歳以下) ¥9,000

好評
発売中!

定期会員券は最大38%OFF!

同月内の東京定期演奏会への振替が可能です!

【お申込み】日本フィル・サービスセンター

☎ 03-5378-5911 (平日10~17時)

eチケット♪

<https://eticket.japanphil.or.jp>



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
——創立指揮者 渡邊 暁雄——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第404回

横浜定期演奏会

404th YOKOHAMA Subscription Concert

2025年1月25日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm January 25th(Sat.), 2025, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: 神奈川新聞社、TBS

協力: 横浜みなとみらいホール

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



横浜定期演奏会 2025/2026 シーズンラインナップ

2025年9月より開演時間が変わります

横浜定期演奏会は 2025/2026 シーズンより
15:00 開演 (14:10 開場) といたします。

第 410 回

2025 年 9 月 20 日 (土)

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者]

ピアノ: 高木竜馬

伊福部 昭: SF 交響ファンタジー 第 1 番

ラヴェル: ピアノ協奏曲

ドヴォルジャーク: 交響曲第 9 番《新世界より》

第 411 回

2025 年 10 月 25 日 (土)

指揮: 藤岡幸夫

トロンボーン: 伊藤雄太 [首席奏者]

吉松隆: アトム・ハーツ・クラブ組曲 第 1 番

吉松隆: トロンボーン協奏曲《オリオン・マシーン》

シベリウス: 交響曲第 1 番

第 412 回

2025 年 11 月 22 日 (土)

指揮: 太田 弦

ピアノ: 牛田智大

ショパン: ピアノ協奏曲第 2 番

チャイコフスキー: 交響曲第 5 番

※料金・発売日は決まり次第お知らせいたします。

第 413 回

2025 年 12 月 13 日 (土)

指揮: 出口大地

ソプラノ: 砂田愛梨 アルト: 山下裕賀

テノール: 石井基幾 バリトン: 高橋宏典

合唱: 調整中

ベートーヴェン: 交響曲第 9 番《合唱》他

第 414 回

2026 年 1 月 24 日 (土)

指揮: ヴァイオリン:

ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク

ベートーヴェン: 《献堂式》序曲

モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲第 3 番

ヨーゼフ・シュトラウス: わが人生は愛と喜び

J. シュトラウス II 世:

アンネン・ポルカ、ポルカ《浮気心》、

ワルツ《ウィーン気質》、

ポルカ・シュネル《帝都はひとつ、ウィーンはひとつ》、

ワルツ《芸術家の生活》

第 415 回

2026 年 3 月 21 日 (土)

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

クラリネット: 伊藤寛隆 [首席奏者]

モーツァルト: クラリネット協奏曲

ベートーヴェン: 交響曲第 3 番《英雄》

Cocomi の奏でる優雅なモーツァルトと恋と切なさの調べ 《シェルブールの雨傘》

2025 年の年明けは一味違った定期演奏会。武満徹がテレビドラマのために書いた気が遠くなるほどの美しさを放つ《波の盆》と、今話題のフルーティスト Cocomi を迎えたモーツァルトのコンチェルト。そして最後は誰もが耳にしたことある「あのメロディ」が圧倒的なミシェル・ルグランの《シェルブールの雨傘》の音楽をお贈りします。Cocomi の伸びやかな笛の音に魅了されずにはいられませんし、《波の盆》《シェルブールの雨傘》の可憐さ、切なさには必ずや心揺さぶられることでしょう。特に後者は「交響組曲」の名に相応しい 30 分近くを要する大作です。ジャズやミュージカルの要素も取り入れた非常に聴きやすく誰もが楽しめる音楽です。

Programs

武満 徹: 組曲《波の盆》(約 16 分)

TAKEMITSU Toru: Nami No Bon

モーツァルト:

フルート協奏曲第 2 番 ニ長調 K.314 (約 20 分)

Wolfgang Amadeus MOZART:

Concerto for Flute and Orchestra No.2 in D-major, K.314

—— 休憩 (15 分) Intermission ——

ルグラン:

交響組曲《シェルブールの雨傘》(約 30 分)

Michel LEGRAND: Symphonic Suite "Les Parapluies de Cherbourg"

指揮: 藤岡幸夫 Conductor: FUJIOKA Sachio

フルート: Cocomi Flute: Cocomi

コンサートマスター: 扇谷泰朋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: 門脇大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

シーズンファイナルパーティー

横浜定期恒例の

シーズンファイナルパーティー!

終演後 1 階客席ホワイエにて

出演者のトーク、楽員による演奏を

お楽しみいただきます。奮ってご参加ください。

参加費
無料



※ドリンクの提供は
見合わせます。

©Shin Yamagishi



指揮: 藤岡幸夫

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。

英国王立ノーザン音大指揮科卒業。最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られるサー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞を、日本人にもかかわらず特例で受賞。1994年ロンドン《プロムス》に

BBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。

首席指揮者として毎年40公演以上を共演し 2025年に 26年目のシーズンを迎える関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2025年4月から総監督にも就任することが2024年11月に発表された。また2019年の首席客演指揮者就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。放送出演も多く、番組立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東『エンター・ザ・ミュージック』(毎週土曜朝8:30)は2024年10月で11年目に突入、放送500回を越える人気番組。英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、ALM RECORDSから関西フィルとのシベリウス交響曲全集をリリース。著書に『音楽はお好きですか?』『続・音楽はお好きですか?』(敬文舎)。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>



← YouTube チャンネル

【2分でわかる大人のためのオーケストラ入門 Plus+】
X、Instagramでは2分バージョン配信!

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。
ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

●お客様へのお願い●

演奏中は手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

©Akinori Ito



フルート: Cocomi

3歳からヴァイオリン、そして11歳にフルートを始める。

2021年1月、東京フィルハーモニー交響楽団の「ニューイヤーコンサート2021」にソリストとして出演。同年、京都の西本願寺で無観客で収録された「音舞台」への出演も果たす。

2022年4月デビュー・アルバム『de l'amour』をリリース。12月に東京・紀尾井ホールで行われたデビュー・リサイタルを成功裡に終える。

2023年2月には、ニューヨークのラジオシティ・ミュージックホールで開催されたピアニスト、ラン・ランのコンサートにゲスト出演。公演での世界デビューを果たす。

同年3月、桐朋学園大学音楽学部 カレッジ・ディプロマ・コースを修了。10月、ヴァイオリニスト、デイヴィッド・ギャレットの来日公演にゲスト出演。11月には2nd アルバム『Mélancolie』をリリースし、東京・紀尾井ホールで自身2度目となるリサイタルを開催。

2024年10月には、3rd アルバム『Neos』をリリースし、12月に東京・紀尾井ホールと大阪・住友生命いづみホールでリサイタルを開催。現在同大学ソリストディプロマコースに在籍中。

フルートを泉真由氏、NHK 交響楽団首席フルート奏者である神田寛明氏に師事している。



今日のコンサートの聴きどころは?

多彩な活動を展開する期待の若手
布施砂丘彦さんの解説をお楽しみください。

16時20分
より
大ホール内
にて♪

布施 砂丘彦 (ふせ さくひこ)

東京芸術大学卒業。コントラバスおよびヴィオローネ奏者、批評家、音楽プロデューサー。2020年9月に時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論賞奨励賞を受賞して批評家デビュー。朝日新聞の連載「for your Collection クラシック音楽」をはじめとして、雑誌やウェブメディアなどさまざまな媒体に寄稿。2023年から「箕面おながく批評塾」(箕面市メイプル文化財団主催)塾長。



武満 徹：組曲《波の盆》

武満徹（1930-96）は、戦後日本を代表する作曲家。1950年代に前衛的な作風で注目を集め、日本の伝統音楽や自然観を取り入れた独自の音楽を展開した。映画やテレビのための音楽でも活躍し、様々な作品を手がけている。

『波の盆』は、1983年11月15日に放映された倉本聰脚本、実相寺昭雄監督による日本テレビのドラマで、主演は笠智衆、石田えり、加藤治子ら。ハワイを舞台に、日系移民の困難な立場や、第二次世界大戦によって生まれた家族の断絶、わだかまり、親愛といったものを描き、この年の文化庁芸術大賞をはじめ、数々の賞を受賞した。

武満は1996年にこのドラマの音楽から、“波の盆”“美沙のテーマ”“色褪せた手紙”“夜の影”“ミサと公作”“終曲”の6曲を組曲として再編した。武満の特徴でもあるロマンティックで甘美な響きに彩られている。

楽器編成 フルート2（ピッコロ持替2）、オーボエ1、Es管クラリネット1、クラリネット2、ホルン3、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、大太鼓、小太鼓、シンバル、グロッケンシュピール、ヴィブラフォン、タムタム、マリンバ、チューブラーベル、ハープ1、チェレスタ1、シンセサイザー1、弦楽5部。

モーツァルト：フルート協奏曲第2番 二長調 K.314

今日のフルートはほとんどが金属製となっているが、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756-91）が生きていた時代には文字通りの「木」管楽器であった。ただし現代使われているものに比べ、機能的に不自由な面が多く、音程・音色も不安定であったため、モーツァルトはフルートを好んでいなかった、という説が一般的である。だがその一方で、モーツァルトの筆によるフルートがメインに据えられた作品（フルート四重奏曲〔4曲〕、協奏曲〔2曲〕、フルートとハープのための協奏曲など）はどれをとっても軒並み傑作が揃っている。

なお本日演奏される『フルート協奏曲』だが、超有名曲であるにもかかわらず、成立については未だに不明な点が多い。曲そのものが作られたのは、モーツァルトが22歳を迎えた1778年と言われている。折しも当時のモーツァルトは故郷ザルツブルクでの宮仕えを一旦辞し、マンハイムで求職活動をおこなっていた。

作品誕生のきっかけとなったのは、マンハイムで活躍していたヴェンドリングという名フルート奏者との出会い。このヴェンドリングの紹介で、モーツァルトは「ド・ジャン」なる人物（おそらくはオランダ出身の裕福な商人であり音楽愛好家でもあったデ・ジョン）なる人物と出会う、そして彼の依頼によって書かれた2曲のフルート協奏曲の1つが、『フルート協奏曲第2番』である。

ただしこれは、元々マンハイムに出発する直前にザルツブルクで書いた『オーボエ協奏曲』を、オリジナルのハ長調から二長調に移し替えたもの、とも言われている。しかもこの『オーボエ協奏曲』自体、マンハイムの名オーボエ奏者のラムによってモーツァルトの滞在中に演奏されたことから、デ・ジョンも『フルート協奏曲第2番』が『オーボエ協奏曲』の焼き直しであることを知った模様である。（結果、2曲のフルート協奏曲への報酬も、元々の契約の半額以下にとどまってしまったようだ）。

このように、自身の厳しい経済状況を支えるために作曲したという側面があることは事実だ

が、フルートの音域をフル活用した伸びやかで優美な旋律は、まさに天才モーツァルトによって書かれた至福の音楽であることを十分に証明している。

第1楽章：アレグロ・アペルト、二長調、4分の4拍子、協奏風ソナタ形式

第2楽章：アンダンテ・マ・ノン・トロポ、ト長調、4分の3拍子、ソナタ形式

第3楽章：アレグロ、二長調、4分の2拍子、変則的なソナタ形式

楽器編成 独奏フルート、オーボエ2、ホルン2、弦楽5部。

ルグラン：交響組曲《シェルブールの雨傘》

映画『シェルブールの雨傘』は、1964年に製作されたフランスのミュージカル映画。翌年のカンヌ映画祭でグランプリを受賞している。初恋の甘美さと苦さ、人生における選択とその結果を静かに描き出し、切ない結末を迎えるものの、きわめて現実的なテーマであるがゆえに、多くの人の心を捉える不朽の名作となっている。

物語はノルマンディ地方の港町、シェルブールが舞台。傘屋のひとり娘ジュヌヴィエーヴと、ガレージで働いている若者ギイは結婚を約束した恋仲だったが、彼女の母親は2人の結婚を認めていなかった。そんなとき宝石商のカサードが彼女をみそめ、しかも突然ギイはアルジェリア戦争に出征してしまう。ギイが発つ前に、一夜をすごしたジュヌヴィエーヴはギイの子を宿していたが、そのことを承知の上でカサードは求婚し、彼女も彼の下に嫁ぐこととなる。

戦争から戻ったギイは、ジュヌヴィエーヴが結婚し町を去ったことを知り、幼なじみのマドレーヌと結婚して新たな人生を歩み始めた。数年後のある雪の降る日、ジュヌヴィエーヴが偶然ギイの経営するガソリンスタンドを訪れる。二人は短い会話を交わすものの、それぞれの道を歩むことを悟り、別れる。

監督のジャック・ドゥミと音楽を担当したミシェル・ルグラン（1932-2019）は、この映画を「オペラ形式」、つまり全編を音楽で綴り、セリフもレチタティーヴォとして音楽にのせて歌わせるという画期的な形式をとった。ルグランの美しい音楽が全編を彩り、物語をより一層切なくしている。

本日演奏される交響組曲は、劇中に登場する旋律がストーリーにほぼ沿う形で次々と登場し、全曲切れ目なく演奏されるという構成。もちろんその中心を成すのは、『シェルブールの雨傘』の大ヒット主題曲、別れのシーンで主人公ジュヌヴィエーヴが歌う“Je t'attendrai toute ma vie”（I will wait for You あなたを待つわ）だ。

ちなみにルグランはポピュラー音楽の世界で活躍したものの、17歳でパリ音楽院を卒業しているキャリアの持ち主だけあり、音楽的な基礎もきわめてしっかりとしていた。結果、たとえばオーケストレーションの手腕一つをとっても見事で、こういったアレンジにありがちな軽さやぎこちなさは感じられない。また、ジャンルの違いを軽々と超えて、クラシック音楽の象徴のごときオーケストラの中にリズム・セクションやピアノを加え、時にはジャジーに、時にはビッグバンドのようなサウンドを聴かせる作品に仕上がっている。

楽器編成 フルート2（ピッコロ持替1）、オーボエ2（イングリッシュ・ホルン持替1）、クラリネット2（バス・クラリネット持替1）、ファゴット2、ホルン4、トランペット4、トロンボーン3、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、シンバル、トライアングル、タンブリン、グロッケンシュピール、ヴィブラフォン、ハープ1、ピアノ1（チェレスタ弾替1）、エレクトリックギター1、ウッドベース1、ドラムス1、弦楽5部。



Column

歴史でひもとく! ～クラシックこぼれ話 by 小宮正安

「クラシック音楽」と映画
～19世紀的な価値観の彼方に～



西洋芸術音楽、いわゆる「クラシック音楽」。往々にしてそのイメージは、聴き手の精神に深い感動や省察を与える一方で、「堅苦しく難しい」というところになるのではない。ただし、こうしたクラシック音楽のあり方が定着するのは、主に19世紀になってからのことである。それ以前の時代は、たとえばモーツァルトの多くの作品に聴かれるように、優美さや愉悅が中心となっていた（もちろんそこに、感動や省察といった要素が皆無だったわけではない）。

ではなぜ19世紀に、クラシック音楽をめぐる件のイメージが生まれたのか？ 簡単にまとめるならば、この時代を担った市民階級が裸一貫の状態から身を起こして成功を勝ち取るにあたり、そうした音楽を必要としたため。…ただしそのようにして築かれていった19世紀の繁栄が、公害や恐慌によって揺らいでゆくにつれて、クラシック音楽のあり方も変化を遂げてゆく。

というわけで20世紀のクラシック音楽には、19世紀にはなかった様々な特徴が加わることとなった。モーツァルトの時代の音楽精神に戻る、ということもその一つ。そのようにして生まれた作品の1つこそ、リヒャルト・シュトラウス（1864-1949）が1911年に発表したオペラ『ばらの騎士』だ。しかもこの『ばらの騎士』が大ヒットを重ねた結果、1925年には映画版の『ばらの騎士』が製作される。まだ無声映画の時代だったため、音楽は、もともとオペラのために作られていたシュトラウスのオリジナルが、第三者によって編曲された。

娯楽産業の典型的存在であった映画に、クラシック音楽、あるいはそれを主に手掛ける音楽家が積極的に関わる。そうした傾向の結晶が、本日のプログラムにも見事反映されている。「交響的組曲」という、「ザ・クラシック音楽」の典型のようなスタイルで再構成された、ルグランの『シェルプールの雨傘』だけにとどまらない。映画の方向性を受け継いだテレビのドラマ用に元々書かれた、武満の『波の盆』にも、この傾向は明らかだ。

19世紀的なクラシック音楽のあり方を超えた音楽。本日はそれを堪能できる、絶好のチャンスである。



映画版『ばらの騎士』のポスター
(公開は1926年)

Next YOKOHAMA

第405回 横浜定期演奏会

2025年3月22日(土) 17:00
横浜みなとみらいホール

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ヴァイオリン: 中野りな

チャイコフスキー:

ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35

リムスキー＝コルサコフ:

交響組曲《シェエラザード》op.35

S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000
P席 ¥4,500 Ys席 ¥2,000

※ Ys: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

© 山本倫子

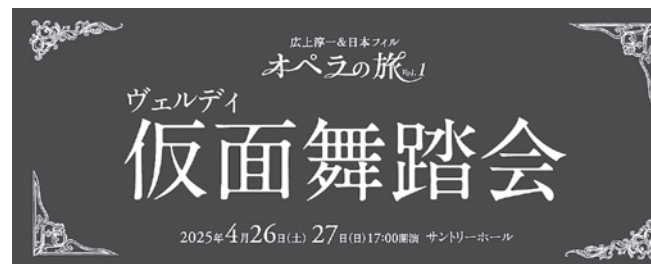


小林研一郎

© kisekimichika



中野りな



ヴェルディ: オペラ《仮面舞踏会》

(セミ・ステージ形式/全3幕/字幕つき)

指揮: 広上淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]

演出: 高島 勲 合唱: 東京音楽大学

アメリカ: 中村恵理 リッカルド: 宮里直樹 レナート: 池内 響
ウルリカ: 福原寿美枝 オスカル: 盛田麻央 シルヴァーノ: 高橋宏典
サムエル: 田中大揮 トム: 杉尾真吾

好評
発売中

サントリーホールで
人間ドラマが交錯する!
広上が全幅の信頼を寄せる
布陣で贈る新シリーズ

SS ¥12,000 S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥6,500 C ¥5,000 D ¥3,000 ※一部見切れあり/電話のみ
Ys (25歳以下) ¥4,000* Gs (70歳以上) ¥5,000* *SS,S,D 除く

【チケット購入】日本フィル・サービスセンター

TEL: 03-5378-5911 (平日10:00 ~ 17:00) <https://eticket.japanphil.or.jp>

■第50回九州公演 日本フィル in KYUSHU 2025 記者会見を行いました

詳細はホームページよりご覧ください。→



【公演日程】

指揮：カーチュン・ウォン〔首席指揮者〕

2/8 日 15時 長崎市民会館 文化ホール	2/15 日 14時 宝山ホール (鹿児島県文化センター)
2/9 日 14時 大牟田文化会館 大ホール	2/16 日 14時 アクロス福岡シンフォニーホール
2/11 日 14時 北九州ソレイユホール	2/18 日 19時 佐賀市文化会館 大ホール
2/12 日 19時 iichiko グランシアタ	2/19 日 19時 熊本県立劇場コンサートホール
2/14 日 19時 都城市総合文化ホール	

■東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス 公開講座

ヴェルディ『仮面舞踏会』レクチャー「ドラマの史実とその音楽」

講師：広上淳一（指揮者／東京音楽大学教授）

高島 勲（演出家／東京音楽大学特別招聘講師）

本間晴樹（東京音楽大学名誉教授）

【日時】2025年2月25日（火）17:00～

【お申込み】東京音楽大学 HP より WEB フォームにて（無料）

【問合せ】東京音楽大学指揮研究室 conducting@tokyo-ondai.ac.jp

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組！『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54～23:00（第3週、第4週は再放送）。ぜひご覧ください！

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。
- 会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
- ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。

12月の寄付者 野末康博様、匿名1名

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター

〒166-0011

東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911（平日10時～17時）

FAX: 03-5378-6161（24時間）

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急（横浜みなとみらいホール向かい）にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食：下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。（4名様まで）※除外日および対象外メニューあり

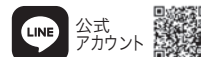
オールデイダイニング「カフェ トスカ」／ラウンジ「ソマーハウス」／日本料理「大志満」

中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者／渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者／小林研一郎
- 名誉指揮者／ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者／ジェームズ・ロッドラン
- 客員首席指揮者／ネーメ・ヤルヴィ
- 首席指揮者／カーチュン・ウォン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問／アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）／広上淳一

公式X (元 Twitter)
@Japanphil

ソロ・コンサートマスター 扇谷泰朋 木野雅之 田野倉雅秋 アシスタント・コンサートマスター 千葉清加 第1ヴァイオリン 伊藤太郎 太田麻衣 九鬼明子 齋藤政和 榊 渚 竹歳夏鈴 谷崎大起 田村昭博 中谷郁子 西村優子 平井幸子 本田純一 第2ヴァイオリン 遠藤直子 大貫聖子 岡田紗弓 加藤祐一 神尾あずさ 川口 貴 佐藤駿一郎 末廣紗弓 豊田早織 町田 匡 松川葉月 山田千秋 ヴィオラ ☆安達真理 江藤史織 小俣由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤雅奈	ソロ・チェロ 門脇大樹 菊地知也 チェロ 石崎美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤哲弥 久保公人 □篠原和仁 山田智樹 コントラバス ◎高山智仁 鈴村優介 成澤美紀 宮坂典幸 森田麻友美 山口雅之 フルート ◎真鍋恵子 齋藤光晴 難波 薫 オーボエ ◎杉原由希子 ◎松岡裕雅 佐竹真登 クラリネット ◎伊藤寛隆 ◎楠木 慶 照沼夢輝 堂面宏起 ファゴット ◎田吉佑久子 ◎鈴木一志 中川日出鷹 ホルン ◎丸山 勉 ◎信末碩才 伊藤 舜 宇田紀夫 原川翔太郎 村中美菜	ソロ・トランペット オッタビアーノ・クリスト・フォリ トランペット ◎大西敏幸 ◎犬飼伸紀 中里州宏 中務朋子 星野 究 トロンボーン ◎伊藤雄太 ◎笠間勇登 バス・トロンボーン 中根幹太 チューバ 柳生和大 ティンパニ ◎エリック・バケラ ◎池田健太 パーカッション 大河原 渉 ハープ 松井久子 楽団長 星野 究 チーフステージマネージャー 阿部紋子 ステージスタッフ 長橋健太 森田大翔 チーフインスペクター 佐藤駿一郎 インスペクター 宇田紀夫 鈴村優介 谷崎大起 ライブラリアン 鬼頭さやか 杉本哲也 ◎首席奏者 ◎副首席奏者 ☆客演首席奏者 ◎試用期間	理事長（代表理事） 平井俊邦 副理事長（代表理事） 五味康昌 専務理事（代表理事） 福井英次 常務理事（代表理事） 後藤朋俊 理事 石井啓一郎 石塚邦雄 佐々木経世 田村浩章 戸所邦弘 中根幹太 葉田順治 福本ともみ 監事 上條真夫 福澤宏哉 評議員会会長 加藤丈夫 評議員 青井 浩 安孫子 正 荒蒔康一郎 石村 等 稲垣 尚 内川清雄 大塚宣夫 海堀周造 梶浦卓一 河北博文 喜多崇介 木村恵司 久保田 隆 小林研一郎 島田精一 津田義久 西澤 豊 野間省伸 福満一夫 村上典吏子 山口多賀幸	名誉顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔 コミュニケーション・ディレクター マイケル・スペンサー マネジメント・スタッフ 浅見浩司 磯部一史 江原陽子 及川ひろか 小川紗智子 萩島里帆 賀澤美和 柏熊由紀子 小須田萌 佐々木文雄 澤田智夫 篠崎めぐみ 杉山綾子 杉山まどか 高橋勇人 田中正彦 樋谷祐子 中村沙緒里 西田大輔 西田真菜 長谷川珠子 藤田千明 藤村益江 別府一樹 益満行裕 宗澤晶子 山岸淳子 吉岡浩子 シニア・パートナー 新井康允 伊波 睦 永島義郎 南部洋一 吉江信博	団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 新井豊治 石井啓一郎 伊藤恒男 伊波 睦 遠藤 功 遠藤剛史 大石 修 大川内 弘 寛 美知子 金本順子 蒲谷隆行 川口和宏 菊田秋一 岸良開城 吉川利幸 木村正伸 小林俊夫 小山 清 斎藤千種 佐々木裕司 佐藤玲子 菅原 光 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 田沢 烈 立川和男 堂阪俊子 富樫尚代 豊田尚生 中川二郎 永田健一 中務幸彦 奈切敏郎 橋本 洋 畑井紀代子 平賀法子 福島喜裕 松本克己 松本伸二 三本克郎 宮武良平 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 渡辺哲雄
--	--	---	--	---	--

(2025年1月1日現在)